

# NOBORU BABA RETROSPECTIVE

描いた  
つくった  
楽しんだ  
ニャーニャー!



休館日 月曜日(4月28日)、5月5日は開館し、5月7日は休館  
開館時間 10時~17時(入館は16時30分まで)

2025年4月11日(金)~5月25日(日)

まるごと

## 馬場のぼる展

[観覧料] 一般:1200(1000)円、高大生:800(600)円、小中生:500(300)円

\*()内は前売り、または20人以上の団体料金。\*障がい者手帳をご提示の方と付添者1人の観覧料は当日料金の半額。\*土曜日、日曜日(午前中)は、中学生以下の入館が無料。\*山形美術館キャンパスメンバーズ制度登録校の学生は学生証提示により無料。

[前売り券取扱所] 山形新聞・山形放送本社(本社1階チケットセンターでの購入は、事前に023-622-4555まで電話予約の上お越しください)、支社、山形新聞販売店、山形美術館、チケットぴあ(Pコード:687-132)、ローソンチケット(Lコード:21395)、セブン-イレブン(セブンチケット)、e+(イープラス)、ファミリーマート、楽天チケット([https://r-t.jp/babanoboru\\_2025](https://r-t.jp/babanoboru_2025))

主催:山形新聞・山形放送、山形美術館

共催:山形県、公益財団法人山形県生涯学習文化財団 後援:山形県教育委員会、山形県芸術文化協会、山形市、山形市教育委員会、山形市芸術文化協会  
特別協力:こぐま社 協力:青森県三戸町 企画協力:hogaraka.art

山形美術館  
Yamagata Museum of Art



# まるごと馬場のぼる展

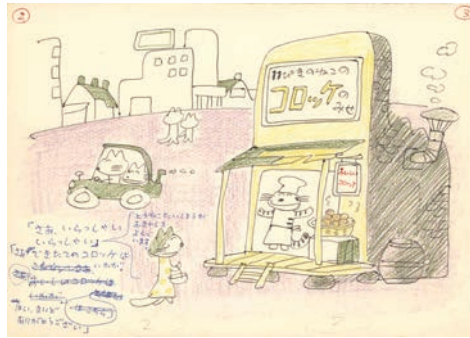
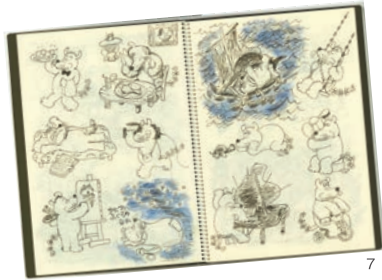
描いた つくった 楽しんだ ニャゴ!



絵本「11ぴきのねこ」シリーズの作者として知られる漫画家・馬場のぼる(1927～2001)を紹介する展覧会を開催します。青森県三戸町に生まれた馬場は、幼い頃から絵を描くことが好きな少年でした。1948年に漫画家としてデビューし、翌年に上京。子ども向けの連載漫画『ポストくん』が評判となり、手塚治虫や福井英一とともに「児童漫画界の三羽ガラス」と呼ばれるほどの人気作家となりました。その後週刊漫画雑誌や新聞にも連載漫画を発表しながら、絵本の世界へ活躍の場を広げていきます。67年、第1作『11ぴきのねこ』が誕生。以降6冊の絵本と関連作による同シリーズは、今日でも多くの人々が親しむロングセラーとなっています。馬場が絵本でも

漫画でも変わりなく追及したことは人を和ませる“いい笑い”であり、ほのぼのとした絵柄と深みのあるユーモアにあふれた作品は多くの人の心をとらえています。

本展では馬場の代表的な漫画や絵本の原画のほか、50年間描きためた秘蔵のスケッチブック、絵画や立体作品などを展示します。馬場のぼるの創作世界をまるごとお楽しみください。



1. 「11ぴきのねことへんなねこ」イラスト(色校用) 1989年 こぐま社蔵 2. 『きつね森の山男』特装版 1999年 こぐま社蔵 3. 「アwtan」原画「幼年ブック」1954年9月号 個人蔵 4. 「ばんざい桃太郎」原画「週刊漫画サンデー」1961年12月2日号 個人蔵 5. 「11ぴきのねことあほうどり」ラフスケッチ 1972年 こぐま社蔵 6. 『ぶどう畑のアオさん』原画 2001年 こぐま社蔵 7. スケッチブック 制作年不詳 墨・紙 個人蔵

## EVENT

\*イベントの詳細や最新情報は、山形美術館ホームページをご覧ください。

1

**記念講演会** 要観覧料・参加無料

「11ぴきのねこ」と馬場のぼる先生  
～本物のユーモアを求めつづけて～

日時／4月12日(土) 13:30～15:00  
講師／関谷裕子氏(元こぐま社編集長)  
定員／先着100人

2

**写真撮影会** 青森県三戸町から 要観覧料・参加無料

「11ぴきのねこ」がやってくる!

日時／4月13日(日)、26日(土)、5月5日(月・祝)  
10:30～、13:30～ 各回20分程度  
定員／各回先着50組  
\*各回30分前に1階受付で整理券をお受け取りください。  
\*カメラは各自ご持参ください。撮影は、1グループにつき1枚です。

3

**絵本の読み聞かせ** 要観覧料・参加無料

日時／4月27日(日)、5月11日(日)  
10:30～、11:30～  
協力／東北文教大学児童文化部  
定員／各回最大80人

**スペシャルイベント** 浪曲と人形劇「きつね森の山男」

日時／4月20日(日) 10:30～12:00、13:30～15:00  
キャスト／浪曲師 真山隼人、(曲師) 沢村さくら  
(人形操演) 西村和子、三木孝信【人形劇団クラルテ】  
\*人形劇専用チケット(当日展覧会もご覧いただけます)が必要です。購入方法など詳細は山形美術館のホームページをご覧ください。

来場特典  
**PRESENT**

ご来場のお子さま  
(中学生以下)に  
「11ぴきのねこ」の  
ぬりえをプレゼント!  
\*お一人につき1枚まで。

## NOBORU BABA RETROSPECTIVE

### 山形美術館

Yamagata Museum of Art  
〒990-0046 山形市大手町1-63 TEL.023-622-3090  
<https://www.yamagata-art-museum.or.jp>

アクセス方法 ●徒歩/JR山形駅東口から徒歩15分  
●バス/ベニちゃんバス「中心市街地」行き 電城公園前下車徒歩4分  
●車 /山形自動車道山形蔵王I.C.から約15分、山形美術館北側の無料駐車場をご利用ください。有料の提携駐車場はございません。

問い合わせ先 ●展覧会について/山形美術館 TEL.023-622-3090  
●チケットについて/山形新聞社事業部 TEL.023-642-7955



電城公園	山形美術館	山形県郷土館文庫館
	山形メディアタワー 山形市役所	山形市立病院演生館
JR山形駅	駅前交番	山形市立病院演生館
	ダイヤロイネットホテル	山形市立病院演生館